

科目	ハンドリング学科	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	15	授業回数	8	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	ハンドリングの基本を理解し、ショーハンドリングを学ぶ。犬の基本的な見せ方、審査員との距離感を理解する							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	知っておくべき基礎知識①		日本のドッグショーを考察する。審査のポイントを理解する。					
2	知っておくべき基礎知識②		日本のドッグショーを考察する。審査のポイントを理解する。					
3	ハンドリングの基本①		小型犬のスタックの手順と触り方、リードの取り扱いや犬とハンドラーの距離感を知る。					
4	ハンドリングの基本②		大型犬のスタックの手順と触り方、リードの取り扱いや犬とハンドラーの距離感を知る。フリースタANDINGを理解する。					
5	ハンドリングの基本③		歩様とステップ、ムーブメントを理解し、その犬種の特色を把握し、欠点を見せないハンドリングを実施する。					
6	ハンドリングの基本④		ウォーク、トロット、ギャロップ、アンブル、ハックニ、ピッチングとローリングを理解し実践する。					
7	ハンドリングの基本⑤		トライアングル、アップアンドダウンによる犬の見せ方を学ぶ。					
8	リードの扱い・犬の扱い①		リードの持ち方と確実に犬のアゴ下にリードをかける手技を学ぶ。リードのかけ方、持ち方で犬の反応が変わることを理解する。					

科目	ハンドリング学科	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	15	授業回数	8	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	講義		
学習目標	ハンドリングの基本を理解し、ショーハンドリングを学ぶ。犬の基本的な見せ方、審査員との距離感を理解する							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	リードの扱い・犬の扱い②		リードの持ち方と確実に犬のアゴ下にリードをかける手技を学ぶ。リードのかけ方、持ち方で犬の反応が変わることを理解する。					
2	リードの扱い・犬の扱い③		リードワークを理解したうえで実際の歩様を見学する。					
3	人と犬の歩行①		人が犬の歩行を先導する方法を学び、より良い歩様を考察する。					
4	人と犬の歩行②		犬の歩行、静止を学ぶ。人が先導し犬を歩行させ、人が止めたいと思う所で静止させる方法を理解する。					
5	人と犬の歩行③		リンク全体の位置関係を把握する。会場の大きさや、地面の状況を見極める判断力を養う。					
6	人と犬の歩行④		人と犬の歩様を理解する。他者のハンドリングにも注目し、客観的な見え方を考察。自分のハンドリングを深究する。					
7	人と犬の歩行⑤		ハンドリング審査一連の流れを知る。審査手順、全犬歩行整列、触審、個体歩行の一連の動きを理解する。					
8	人と犬の歩行⑥		ハンドリング審査一連の流れを知る。大型犬での一連の動きを理解する。					

科目	ハンドリング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	15	授業回数	8	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	その犬の持つ最も正しい立ち姿勢を理解し、スタックさせる技術を修得する。また、その犬の持つ最も良い歩様を理解し、正しく歩かせる技術を修得する。							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	ショーハンドリングの実践練習①		犬と一緒に歩く。犬の気持ちを考える。実践前の基礎を身につける。					
2	ショーハンドリングの実践練習②		ハンドラーとしての立ち振る舞いを学ぶ。美しい姿勢、歩行動作を身につける。					
3	ショーハンドリングの実践練習③		ドッグショー及びハンドリング試験の全体の流れを理解し、動き方を覚える。					
4	ショーハンドリングの実践練習④		触審テーブル上での犬の立たせ方、重心のコントロールを覚え、審査員との対応を学ぶ。					
5	ショーハンドリングの実践練習⑤		触審テーブル上での犬の立たせ方、重心のコントロールを覚え、審査員との対応を学ぶ。					
6	ショーハンドリングの実践練習⑥		一連のショーハンドリングの中でも、審査員に対応し、動き方を自主的に判断する方法を学ぶ。					
7	ショーハンドリングの実践練習⑦		モデル犬の長所を理解し、その長所を審査員にアピールする方法を学ぶ。					
8	ショーハンドリングの実践練習⑧		モデル犬の長所を理解し、その長所を審査員にアピールする方法を学ぶ。					

科目	ハンドリング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	15	授業回数	8	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	その犬の持つ最も正しい立ち姿勢を理解し、スタックさせる技術を修得する。また、その犬の持つ最も良い歩様を理解し、正しく歩かせる技術を修得する。							
使用教材	ハンドリングマニュアル							
評価基準	授業態度 学期末試験							
	テ		マ		内			容
1	ショーハンドリングの実践練習⑨		初心に戻り、犬と一緒に歩き、犬の気持ちを考える。実践前の基礎を再度確認する。					
2	ショーハンドリングの実践練習⑩		ハンドラーをしての立ち振る舞いを再度確認する。					
3	ショーハンドリングの実践練習⑪		歩行速度、リードの使い方により犬の歩様が変わることを学ぶ。また、適切なリードワークを理解する。					
4	ショーハンドリングの実践練習⑫		ハンドリング競技会形式で実習。各自のハンドリング技術を評価し、改善点を明確にする。					
5	ショーハンドリングの実践練習⑬		各自の改善点を中心に克服する方法を考察、練習する。					
6	ショーハンドリングの実践練習⑭		J K C公認ハンドラーC級ライセンス資格の合格基準に到達するように練習を重ねる。					
7	ショーハンドリングの実践練習⑮		ハンドリング試験の全体の流れを再度確認する。					
8	ショーハンドリングの実践練習⑯		各自のハンドリング技術を発揮させ、犬とハンドラーが一体となるショーハンドリングを修得する。					

科目	トリミング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 1年	時間数	420	授業回数	210
担当教員	若山明子			実務経験 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	授業形態	実技	
学習目標	犬種の特徴を理解できることはもちろん、個体の性格を見極め適正な対応ができる力を育て、ショーダッグの管理やお手入れの方法を学ぶ						
使用教材	実習犬・グルーミングマニュアル・道具一式						
評価基準	授業態度 技術習得度						
	テーマ		内容				
1	ショークリップの基本工程・トリミングマナーの入れ方・道具の使い方・ペットクリップ		長毛のブラッシングの的確な手順と保定で、作業に無駄を作らず行う・ピンブラシの使い方、お手入れ方法・完成度の高いペットカットの追求				
2	ショークリップの基本工程・クリッピング・保定・ペットクリップ		クリッパーの扱い方と保定の技術を見直して、ショークリップの基本のテクニックの解説と実践				
3	ショークリップの基本工程・セットアップ・ペットクリップ		セットアップの手順やパーティングのポイントを知り、被毛や毛色にあったスプレー剤を使用し、バランスを考慮し作り上げる・ペットカットの追求				
4	ショークリップ・最終予選に向けての一連の流れ・ペットクリップ		時間を計り、ショークリップの一連の作業を行う。最終予選に向けての細部の調整をし、完成度を高める				
5	ショークリップ・全体のバランスの調整・ペットクリップ		2時間という中で全体のバランスを意識して、無駄のない作業ができるようにする。また、ペットクリップは犬に負担をかけずに仕上げるができる				
6	ショークリップ・ペットクリップ		ショークリップでは、完成度が安定しており、なおかつ決められた時間に仕上げられる・様々なペットクリップが2時間で仕上げられる				

科目	トリミング実習	学科/学年	トリマー高等専攻科 2年	時間数	420	授業回数	210	
担当教員	鈴木美穂			実務経験 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	授業形態	実技		
学習目標	ショークリップの洗練さをタイプの違う実習犬で追求し、ドッグショー出陳までのコンディション作りを学び、アレンジカットのバリエーションを増やす							
使用教材	実習犬・グルーミングマニュアル・道具一式							
評価基準	授業態度 技術習得度							
	テ		マ		内			容
1	ショークリップ・ペットクリップ		タイプの違う実習犬のお手入れや、長所・短所を知りカバーしてカットする・作業効率を上げる					
2	ショークリップ・ペットクリップ		ドッグショー参加にあたり、最前のコート管理とコンディションを整える・ペットカットのスキルアップ					
3	ドッグショー参加へのスキルアップ ・ショーマナー		ドッグショー参加にあたり、静止した状態だけでなく、動いた時でも完成度が変わらないよう追求する					
4	ショークリップ全体のバランス ・ペットクリップ		最終予選のラストカットに向かってシャンピング、ブローなどのスキルを高め、仕上りの美しさを最大限表現できる					
5	ショークリップ・ペットクリップの応用		試験を想定して繰り返し練習し、完成度の安定を目指す					
6	ショークリップ、ペットクリップの洗練		即戦力を目指し、トリミング技術の最終調整					